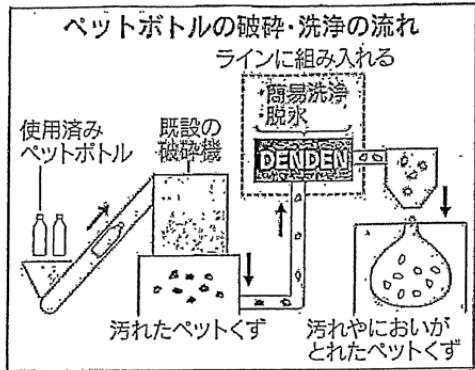


洗浄装置、安く後付け

ペットボトル破碎くず

プラスチックのリサイクル関連機器を手掛ける日本シーム（埼玉原川口市）と廃プラスチック商社のパナ・ケミカル（東京・杉並）は、ペットボトルの破碎くずを洗う低価格の専用装置を共同開発した。廃ペットの最大の輸出先である中国が今年初め、受け入れ時に清潔さを求める規制を導入。廃ペット輸出業者の需要が見込めると判断した。



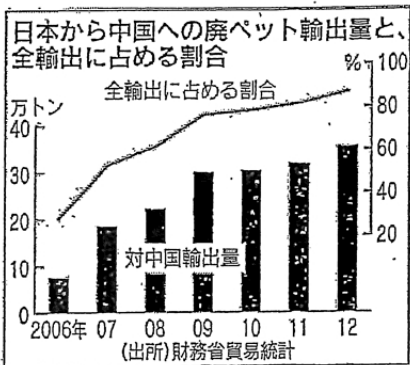
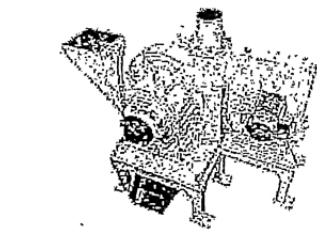
日本シームとパナ・ケミカル

中国の輸入規制 低コストで対応

製品名は「DENDE N（でんでん）」。既設の破碎機（乾式破碎機）と組み合わせることで、ペットくずを水で洗い、ステンレスの容器内で回転させて水や汚れを飛ばす。臭いが気にならない程度にきれいになれる。

簡易な脱水もできる。価格は250万円。洗浄機能を備えた大型破碎機（湿式破碎機）は1500万〜2000万円程度。そのため、すでに乾式破碎機を導入済み業者にとっては投資を大幅に抑えられる。

既設の破碎ラインに組み入れて輸出できる状態に洗浄する



▼グリーンフェンス
中国が2月に導入した使用済み製品の輸入規制。古紙や廃金属、廃プラスチックなどを輸入する際の検品を厳しくした。オランダが今年初めに中国に輸出した古紙の中に異物が混入していたのがきっかけで策定。輸出業者は異物の混入比率などの基準を満たすため、出荷時の検査体制を強化する必要がある。

規制が始まり、古紙や廃金属、廃プラスチックなどを輸入する際の検品が厳しくなった。洗浄していないペットくずが受け入れられにくくなるなか、低コストの対処法を提案。3年間で100台の販売を目指す。パナ・ケミカルが販売代理店になる。日本シームはペットボ

トルなどプラスチックの破碎・洗浄機を製造する。2012年9月期の売上高は約8億円。

パナ・ケミカルは発泡スチロールや廃プラスチックの納入先から処理済みの廃プラスチックを買い取って輸出している。13年2月期の売上高は約53億円。